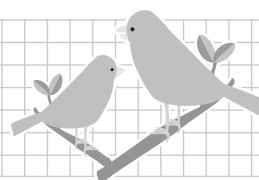


話題の広場



アラカルト

● a la carte ●

■創立50周年記念式典を開催 ～秋田市工業団地協同組合～

11月12日(水)、秋田ビューホテル(秋田市)において秋田市工業団地協同組合(伊藤和宏理事長)の創立50周年記念式典が開催され、本会高橋清悦専務理事をはじめ、関係者等約40名が出席しました。

当組合は、施設の共同利用や集団化による生産性の向上等を目的に、昭和37年に「秋田市金属工業団地協同組合」として設立されました。昭和63年に「秋田市工業団地協同組合」に改称し、現在28社が加入しています。

記念式典では、伊藤理事長が挨拶で「組合を取り巻く環境は厳しいものがあるが、今後も組織の力であらゆる局面を乗り切って行きたい。」と今後の決意を述べたほか、組合員企業で勤続20年以上の従業員に対する永年勤続表彰が行われました。

続いて、帝京大学法学部の志方俊之教授を講師に、「世界を読み解く日本の進路～安全保障の国家戦略～」と題し記念講演が行われました。

また、記念講演終了後に開催された祝賀会には約90名が出席し、来賓を代表して橋口昌道秋田県副知事及び石井周悦秋田市副市長から、当組合の今後更なる発展を祈念する旨の祝辞が述べられ、片山雅史株式会社商工組合中央金庫秋田支店長からは、当組合が長年にわたり組合員及び地域経済の発展に尽力し商工中金の使命達成に貢献してきたことに対する感謝状が贈呈されるなど、節目の年を盛大に祝いました。



【感謝状贈呈の様子(右：伊藤理事長)】

中央会事業より

秋田県食品関連事業者シンポジウムを開催

本会では、秋田県から「食品事業者サポートネットワーク構築事業」の委託を受け、県内の食品関連事業者が県外への販路拡大を目指すための各種事業を積極的に展開していくこととしており、そのキックオフとして、11月21日(金)にイヤタカ(秋田市)において、少子高齢化や人口減少が進む中で食品関連事業者が県外市場を見据えた戦略を考える機会とするため、「秋田県食品関連事業者シンポジウム」を開催し、食品製造業者や流通業者及び生産者、行政機関等から約100名が参加しました。

基調講演では、株式会社生産者直売のれん会代表取締役社長の黒川健太氏から、「地方食品産業の販路開拓」と題し、販路構造の改善に成功した事例等が紹介されました。同社では、こだわりを持つ全国の中小食品生産者と連携し、「SHOP in SHOP」形態で駅ナカなどに一坪ショップを展開することで、価格競争ではなく「価値競争」を行う仕組みを構築し、順調に売上げを伸ばしています。

今回、地方食品産業における販路開拓の方策について、次のとおりポイントが述べられました。

- ・『業績＝商品力×販路構造』である。市場が衰退する中で商品力強化のみを追いかけることは、下りのエスカレーターを必死に駆け上がろうとするようなもの。販路構造の改善に経営資源を投下すべき。
- ・地方の食品事業者は、独自の市場設定により、「〇〇販路における□□商品のNo.1ブランド」など、自社商品の魅力を最大限にアピールできるよう、「小市場の大シェア」を目指すべき。



【講演する黒川社長】



【シンポジウムの様子】

- ・王道と思っていた販路展開は本当に王道だろうか。また、無数の競合品と一緒に並べられて価格競争は回避できるだろうか。例えば、「酒販店で豆腐を売る」、「お茶屋でお菓子を売る」等の取り組みが、狙う販路への有効な展開となり得る。
- ・地方から東京に売っていくことが本当に魅力的だろうか。お土産市場は3兆円もの規模があり、販路を改善することで地方にも大きな可能性が生まれる。

【秋田県食品関連事業者サポートネットワークへご登録ください！】

「秋田県食品関連事業者サポートネットワーク」は、食品事業者と原材料生産者から包装資材、流通業者までの関連業種のネットワークを構築するとともに、下記の支援等を通じて、食品事業者群の育成を図ることを目的としています。是非ご登録下さい。(登録無料)

- ①専門家の派遣：ご相談に対する無料の専門家派遣等によるアドバイス
- ②専門機関及び支援機関や事業者の紹介：ご相談に対するネットワーク登録者の紹介・仲介
- ③各種情報提供：食品関連セミナー、商談会 等

【お問い合わせ先】本会 工業振興課(☎018-863-8701)

支援団体活動レポート

女性経営者等講演会が開催 ～あきたレディース中央会～

11月12日(水)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、あきたレディース中央会(藤原恵美子会長)の女性経営者等講演会が開催され、13名が参加しました。

講演会では、有限会社伊藤漬物本舗(湯沢市)代表取締役の伊藤明美氏を講師に、「戦うために武器を持つ」と題して、伊藤氏の半生を振り返りながら講話が行われました。伊藤氏は、武器とは創意工夫と、企業の人材や技術、ノウハウであると述べました。

また、経営課題の解決において中央会等の支援機関の活用が有効であることや、協同組合やレディース中央会等の団体に加入することで、異業種交流や情報収集の機会に恵まれる等のメリットがあることが紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、講演会終了後に開催された交流昼食会では、講師が自社の技術を用いて開発した3種類の商品について試食が行われ、多数質問が寄せられたほか、和やかな雰囲気の中で参加者同士が積極的に交流を深めました。



【講演会の様子】

中小企業振興条例と支援施策活用のための研修会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

11月18日(火)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県中小企業青年中央会(佐藤潤会長)の研修会が開催され、会員団体等から23名が参加しました。

本研修会は、今後、会員が支援施策を効率的に活用し、経営改善や新たな事業展開に繋げてもらうことを目的に開催され、秋田県の担当者から「秋田県中小企業振興条例」及び「秋田県の中小企業支援施策」について、また、秋田県よろず支援拠点の小室秀幸コーディネーターからは、補助事業の上手な活用方法と申請のポイント等について、それぞれ解説していただきました。

その中で、補助事業を検索するには「施策マップ」が効率的であり、目的に適した事業が見つからない場合は中央会やよろず支援拠点等に相談するようにアドバイスが行われ、参加者からは、「補助金に興味を持った」、「経営改善に専門家派遣事業を活用したい」との声が聞かれるなど、会員組合及び企業の今後の積極的な事業展開が期待されます。

なお、青年中央会では現在、会員団体を紹介するパンフレットの作成に取り組んでおり、パンフレットを活用し会員同士の連携・交流促進とビジネスチャンスの拡大を支援していくこととしています。



【研修会の様子】

組合運営事務セミナーを開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

11月21日(金)、ルポールみずほ(秋田市)において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)主催の「組合運営事務セミナー」が開催され、組合運営の一助として事務局役職員の資質向上を図りたいという共通の目的を持つ秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)にも参加を呼びかけ、両団体から21名が参加しました。

セミナーでは本会職員が講師となり、会員組合から寄せられた相談案件を中心に、

- 総会時の役員改選における指名推選
- 組合員企業が倒産した場合の出資金の取扱い

○みなし理事会 等について詳しい解説がなされ、参加者からは、「実際の相談対応の事例を分かり易く解説してもらい参考になった」「もっと多くの相談事例について解説してほしい」等、参考になったという声が多く寄せられるなど、有意義なセミナーとなりました。

当協議会では、今後も研修会等の開催を通じ、円滑かつ適正な組合運営を支援していくこととしています。



【セミナーの様子】

日本語スピーチ&日本の歌コンテストを開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

11月23日(日)、アキタパークホテル(秋田市)において、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長)の「第1回秋田県外国人技能実習生日本語スピーチ&日本の歌コンテスト」が開催され、会員団体から9組13名が出場しました(中国出身8名、フィリピン出身5名)。

当コンテストは、外国人技能実習生を対象に、コミュニケーションの要となる日本語能力の向上を目的に開催され、出場者はそれぞれが好きな日本の歌を歌い、日本での生活で感じたことや今後の目標等について日本語でスピーチを行いました。

その後、審査員として、本会の高橋清悦専務理事や秋田県アパレル産業振興協議会の佐々木繁治会長等が審査を行った結果、中島みゆきの「ひとり上手」を歌った徐宝兰(シュ・バオラン)さん(本荘由利繊維協同組合)が最優秀賞を受賞したほか、優秀賞1名、優良賞1名、奨励賞6名が決定され、それぞれに表彰状が手渡されました。

当協議会では、外国人技能実習生受入事業の円滑な実施を支援するため、今後もコンテストを継続していくこととしています。



【佐賀会長から表彰状を受け取る徐さん(右)】



インフォメーション

第6回ものづくり日本大賞にご応募下さい(経済産業省)

経済産業省は、国土交通省、厚生労働省、文部科学省と連携して、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」を実施しています。現在、受賞候補者を募集していますので、日本の優れたものづくりを未来に受け継いでいくためにも、多数、ご応募下さい。

○募集締切：平成26年12月15日(月)必着(受賞者の決定、表彰式は平成27年秋頃を予定)

○「第6回ものづくり日本大賞」ホームページ <http://www.monodzukuri.meti.go.jp/index.html>

設備貸与制度・設備資金貸付制度について(公益財団法人あきた企業活性化センター)

現行の国の制度である小規模企業者等設備導入資金制度(設備貸与制度・設備資金貸付制度)については、平成27年3月31日をもって廃止されることとなりました。このため、今年度の受付は平成27年2月末までに、申請設備の設置、確認が必ずできる場合のみとなります。(既存の契約については、影響はありません。)

なお、申請から決定まで1ヶ月程度を要するため、下記の制度を利用されたい方は、お早めにご相談下さい。

○設備貸与制度(料率固定の割賦販売・リース制度) ※限度額：1億円

創業者や経営革新を図る意欲的な小規模企業者(従業員が20名以下の企業等。ただし、商業・サービス業は5人以下)に対し、希望する設備を長期・低利で貸与します。

○設備資金貸付制度(設備資金の一部を無利子で貸付)

※限度額4,000万円(開業1年以上の創業者は6,000万円まで)

創業者や経営革新を図る意欲的な小規模企業者(従業員数が20人以下の企業等。ただし商業・サービス業は5人以下)等に対し、設備資金の一部を無利子で貸付します。

また、中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認、農商工連携促進法の認定を受けた企業等に対しては、貸付限度額、貸付率を割り増しします。

【お問い合わせ先】 公益財団法人あきた企業活性化センター

経営支援グループ 経営革新・設備資金担当(☎018-860-5702)

2015年「新春経営トップセミナー」開催のご案内

本会の新春経営トップセミナーを下記の日程により開催致します。

会員皆様の多数のご参加をお待ちしております。(参加無料)

○テーマ 「アベノミクスで地方再生なるか
～今後の日本政治経済の行方～」

○講師 政治評論家(前 時事通信社 特別解説委員)
加藤 清隆(かとう きよたか)氏

○日時 平成27年1月20日(火)
①トップセミナー：午後3時～5時
②賀詞交歓会：午後5時～(会費6,000円)

○場所 秋田キャッスルホテル 4階「放光の間」

【お申し込み・お問い合わせ先】 本会企画広報課(018-863-8701)



組合ティールーム 秋田県物流事業協同組合連合会

会長 齊藤 正 敏さん

○業界の現状について

当連合会は、物流における多様化・スピード化する顧客ニーズに対応し、効率的に共同事業、教育情報事業を推進していくことを目的に、平成3年に設立されました。現在、8つの協同組合が加入し、勉強会やドライバー教育のセミナーなど、教育情報事業を中心に実施しています。

業界を取り巻く経営環境は、燃料価格や高速料金の値上がりに加え、労働関係法令が厳格化されるなど、厳しい状況が続いています。特に、安全で確実な配送を実現するには高速道路の利用が不可欠であるため、長距離輸送における高速料金の割引率拡大等について国等へ要望していますが、本県経済の発展のため、秋田県としても働きかけてもらいたいです。

○会長としての抱負

組合員が集まり交流を深めることで、互いに研鑽でき、企業や業界の活性化に繋がると 생각합니다。これからも、「組合員のための組合」ということを念頭に、さらに仲間意識を高め、組合員企業が力を合わせ業界を発展させていきたいと考えています。今後は、法改正等へ対応していくための研修会や情報提供等も積極的に実施していきます。

○座右の銘について(普段心がけていること)

私のモットーは「何とかなる」です。経験による判断もありますが、たとえ失敗しても、そこで全てが終わるわけではありません。周囲に対しても、「心配するな、何とかなる。」と声を掛けています。

○趣味について

旅行が好きで、仕事関係も含めると、国内の主な観光地はほとんど回りました。

特に富良野の花畑が気に入っており、ちょっと花見に行く感覚で何度も訪れています。また、近場では、十和田湖が日本で一番美しい湖だと思います。みなさんも、是非行ってみたい下さい。

